

事業番号	02 09 01	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部交通政策局	課・室	交通政策課	
		実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・モータリゼーションの進展や人口減少の急速な進行等の影響により利用者数が減少した結果、交通事業者の経営が悪化し、路線バスをはじめとする公共交通を民間事業者の独立採算により維持していくことは困難な状況。
- ・運転手等担い手不足を原因としたバス路線の減便や廃止が相次ぎ、通院・通学等をはじめとする県民の日常生活の移動に影響が生じている。

2 事業目的

- ・自家用車に頼らなくても大きな不便を感じずに、誰もが安心して通院・通学などの日常生活を送ることができるよう、持続可能な地域公共交通の確保・維持を図る。
- ・利用者が公共交通機関で目的地まで行く際に、円滑に移動できる環境を整備する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①地域公共交通の担い手確保**
- ・【拡】バス・タクシー・トラックドライバー等の人材確保の取組を支援するため、求職者向けイベントの開催や相談窓口の設置、地域就労支援センターホームページでの情報発信の強化を実施
 - ・【拡】他都道府県から移住してバスドライバーとして就業する者に対する支援額を引上げ（最大50万円→80万円）
- ②持続可能な地域公共交通ネットワークの構築**
- ・長野・飯田間を結ぶ高速乗合バス路線（みすずハイウェイバス）の実証増便（7往復便）を継続し利便性の向上を図るとともに、運行に要する経費を補助
 - ・【新】広域的なバス路線の維持・確保を図るため、「信州型広域バス路線支援制度」により従来の赤字補填に留まらない支援を実施
 - ・県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者へ貸与
 - ・【新】通院・通学の移動手段が必要なレベルで確保されるよう、身近な移動手段確保の考え方と標準モデルを提示し、市町村の取組を促進
- ③利用しやすい地域公共交通の実現**
- ・【新】公共交通のキャッシュレス化を目指すため、県下統一地域連携ICカードを導入し、事業を運営する事務局を長野県公共交通活性化協議会内に設置
 - ・経路検索サービスで路線バスの情報を検索するために必要となる「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」の整備を促進するため、交通事業者や市町村向けに研修会を開催
 - ・【新】公共交通が整備されていない経路における観光客の移動の利便性向上を図るため、観光バス路線の新設・拡充を支援
 - ・【新】公共交通で来県する観光客が観光地へ移動するにあたって、円滑な乗継や快適な待合ができるよう、広域拠点及び圏域拠点における待合環境整備を支援
- ④移動における脱炭素化の推進**
- ・【新】日常的な公共交通利用を促すため、長野県バス協会や交通事業者と連携し、バスまつりを開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込			
①	県内の乗合バス・タクシー ドライバー数	人	3,884	3,947	↗	3,946	↘	4,325	地域公共交通の担い手を確保するため、県内のドライバー数を指標として設定した。令和10年度に4,700人にすることが目標であるため、令和8年度は左記のとおりとした。
②	地域間幹線バスの1日当たり 輸送量	人	23.8	25.0	↗	25.2	↗	25.0	地域間幹線バス路線を維持するため、1日当たり輸送量を指標として設定し、直近の実績値を維持することを目標とする。
③	県内路線バス情報における GTFS-JP整備率	%	74.1	77.6	↗	83.2	↗	88.8	GTFS-JPを整備しオープンデータ化することで、経路検索サービス等での検索が可能となり公共交通が利用しやすくなることから設定した。令和10年度に100%にすることが目標であるため、令和8年度は左記のとおりとした。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況					目標		
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-4①	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	☆公共交通機関利用者数	千人	2021 (R3)	72,438	2022 (R4)	82,180	2023 (R5)	87,086	2026 (R8)	100,000
1-4①	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	地域公共交通計画を策定している市町村数(累計)	市町村	2022 (R4)	42	2023 (R5)	45	2024 (R6)	53	2027 (R9)	53

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案		1,309,760		1,309,760	896,614	10.0
	要求		1,531,984		1,531,984	1,345,073	
R7年度	85,500	1,212,956	203,157	1,501,613	1,126,962	10.0	
R6年度	19,998	1,153,486	40,608	1,214,092	1,015,002	1,097,273	9.0
要求からの 主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補正予算を活用し、ドライバー等人材確保支援事業及び交通GX加速化のための電気バス導入支援事業について、令和7年度1月補正予算で前倒し実施することにより事業費を減額 ・高速乗合バス路線確保事業について、事業費を精査し減額 ・移動の安心確保プロジェクト事業、県下統一地域連携ICカード事務局運営事業及び観光バス路線確保支援事業について、事業内容を精査し、事業費を減額 						

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課
-----	-------------------	----	----------------	-----	-------

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	ドライバー等人材確保支援事業	17,105 千円	11,965 千円	予算案 7,493 要求 34,983 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ドライバー等人材確保支援委託事業	委託	求職者向けイベントの開催や、地域就労支援センターへの相談窓口の設置 【拡】地域就労支援センターホームページでの情報発信の強化 求職者向けセミナーの参加者：100人	
2	バスドライバー移住支援事業補助金	補助金	【拡】他都道府県から移住してバスドライバーとして就業する者に対する支援額を引上げ（最大50万円→80万円） 他都道府県から移住したバスドライバー：10人	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	高速乗合バス路線確保事業	50,471 千円	122,815 千円	予算案 175,131 要求 221,259 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	高速乗合バス路線確保事業補助金	補助金	長野・飯田間を結ぶ高速乗合バス路線（みすずハイウェイバス）の実証増便（7往復便）を継続し利便性の向上を図るとともに、運行に要する経費を補助 みすずハイウェイバスの年間利用者数：80,000人	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	信州型広域バス路線支援事業	- 千円	- 千円	予算案 101,146 要求 101,146 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州型広域バス路線支援制度補助金	補助金	【新】広域的なバス路線の維持・確保を図るため、従来の赤字補填に留まらない県独自制度により、運行に必要な経費を補助 補助件数：3件（3者 9系統）、補助額：101,146千円	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	地域間幹線バス路線確保維持事業	497,067 千円	496,713 千円	予算案 490,018 要求 490,018 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 補助件数：10件（10者 24系統）、補助額：182,660千円	
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 補助件数：3件（3者 6台）、補助額：8,858千円	
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	県内バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 購入台数：10台、購入額：298,500千円	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	運輸事業振興助成補助金	335,874 千円	318,034 千円	予算案 317,109 要求 318,305 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 補助件数:2件(2者)、補助額:317,109千円	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	タクシー事業支援総合補助金	6,600 千円	6,600 千円	予算案 32,100 要求 32,100 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	タクシー事業支援総合補助金	補助金	タクシー事業者の経営基盤を強化するため、事業者の運転手確保やバリアフリー化のための取組等を支援 【新】観光地における利便性向上を図るため、タクシー事業者による配車アプリの導入に要する経費を補助 UDタクシー導入補助台数:6台、第二種運転免許取得支援者数:30名、運転手確保のための広報(ラジオCM):20日間、配車アプリ導入車両台数:409台	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
7	移動の安心確保プロジェクト事業	- 千円	- 千円	予算案 51,325 要求 106,134 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	ガイドライン整理・カタログ作成事業	委託	【新】自宅から地域拠点(交通結節点)への移動を確保するための基準となるガイドラインを整備し、カタログを作成すると共に標準モデルを示すことで、市町村の移動品質を確保する取組の方向性を提示 カタログを作成し、市町村に配布	
2	標準モデル構築事業	直接委託	【新】自宅から地域拠点までの移動品質を確保するための標準モデルの実施に向け、デマンド運行を実施していない町村からモデル地域を3地域選定し、標準モデルの具体化を支援 モデル地域:3地域	
3	初期費用支援事業	補助金	【新】地域公共交通計画未策定の町村やNPO法人等に対して、新たに運送開始に向けて必要と認められる車両購入費や講習受講料等の初期費用を補助 補助件数:4件	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
8	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	561 千円	1,736 千円	予算案 670 要求 670 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の課題解消を促進するため、暮らしの足の最適化や観光交通の充実等に取り組む市町村に対し専門家を派遣 専門家派遣市町村数:4市町村	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
9	地域公共交通最適化推進事業	6,676 千円	16,757 千円	予算案 5,755 要求 7,509 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	地域の公共交通見直し推進及び評価検証事業	負担金	長野県地域公共交通計画で定めた「通院・通学・観光」に必要な移動の品質の保証や評価・検証を行う地域別部会の伴走支援を実施 地域別部会の伴走支援:10地域	
2	地域公共交通計画等策定支援事業補助金	補助金	地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画等の策定に係る経費を補助 補助件数:1件、補助額:3,500千円	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
10	県下統一地域連携ICカード事務局運営事業	- 千円	- 千円	予算案 84,952 要求 111,688 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	県下統一地域連携ICカード事務局運営事業	負担金	【新】公共交通のキャッシュレス化を目指すため、県下統一地域連携ICカードを導入し、事業を運営する事務局を長野県公共交通活性化協議会内に設置 決済件数のうちKURURUでの決済率:60%	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
11	交通DXによる公共交通利用転換事業	2,591 千円	13,134 千円	予算案 2,500 要求 2,500 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	交通DXによる公共交通利用転換事業	委託	インターネットの経路検索サービスへ情報掲載をするための研修会等を実施 研修会開催:2回	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
12	観光バス路線確保支援事業	- 千円	- 千円	予算案 23,098 要求 30,209 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	観光バス路線確保支援事業補助金	補助金	【新】公共交通が整備されていない経路における観光客の移動の利便性向上を図るため、観光バス路線の新設・拡充を支援 補助件数:1件(1者1路線)	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
13	観光アクセス拠点待合環境整備事業	- 千円	- 千円	予算案 14,000 要求 14,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	観光アクセス拠点待合環境整備事業補助金	補助金	【新】公共交通で来県する観光客が観光地へ移動するにあたって、円滑な乗継や快適な待合ができるよう、広域拠点及び圏域拠点における待合環境整備を支援 整備内容:バス待合所1か所、情報案内機器11基の新設	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
14	交通GX加速化のための電気バス導入支援事業	- 千円	- 千円	予算案 0 要求 57,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通GX加速化のための電気バス導入支援事業補助金	補助金	二酸化炭素排出量削減による環境負荷の軽減や長期的な輸送コストの低減を図るため、電気バス等の導入を支援 -	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
15	公共交通利用促進事業	- 千円	- 千円	予算案 4,463 要求 4,463 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	公共交通利用促進事業	直接	【新】日常的な公共交通利用を促すため、長野県バス協会や交通事業者と連携し、バスまつりを開催 バスまつり来場者数：2,200人	